

夏のリコチャレ2025総括



令和7年10月22日
内閣府・文部科学省

科学技術・学術分野における現状と課題

内閣府の取組

文部科学省の取組

夏のリコチャレ2025振返りと2026に向けて

科学技術・学術分野における現状と課題

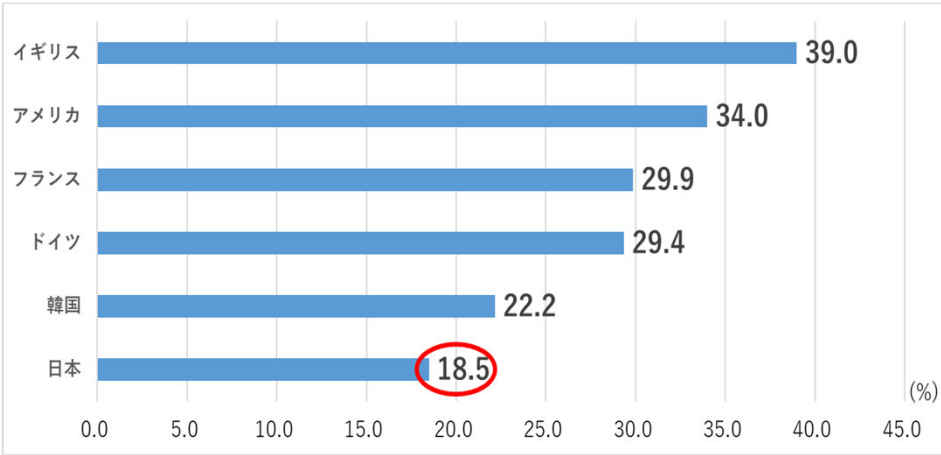
科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状 ①

女性ノーベル賞受賞者数（自然科学分野）

	生理学・医学	物理学	化学	計
アメリカ	6	2	3	11
欧州	5	2	4	11
日本	0	0	0	0
その他	2	1	1	4
全体	13	5	8	26

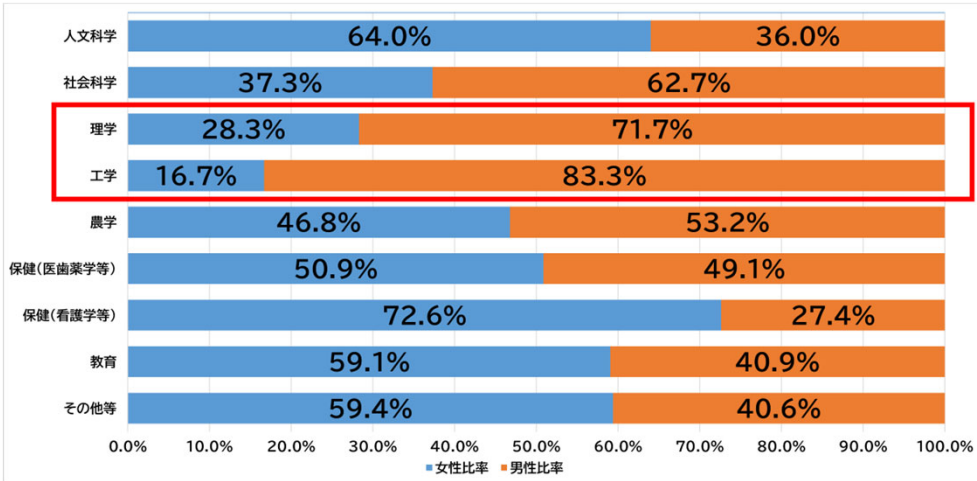
※2024年までの受賞者を集計。
※その他の国は、イスラエル、オーストラリア、中国、カナダ。

諸外国の研究者に占める女性割合



(出典) 総務省「科学技術研究調査」（令和6年）
OECD “Main Science and Technology Indicators”
米国国立科学財団（National Science Foundation：NSF）“Science and Engineering Indicators”

大学（学部）の学生に占める女性の割合



(出典) 文部科学省「令和6年度学校基本統計」
※その他等は「商船」、「家政」、「芸術」及び「その他」の合計。

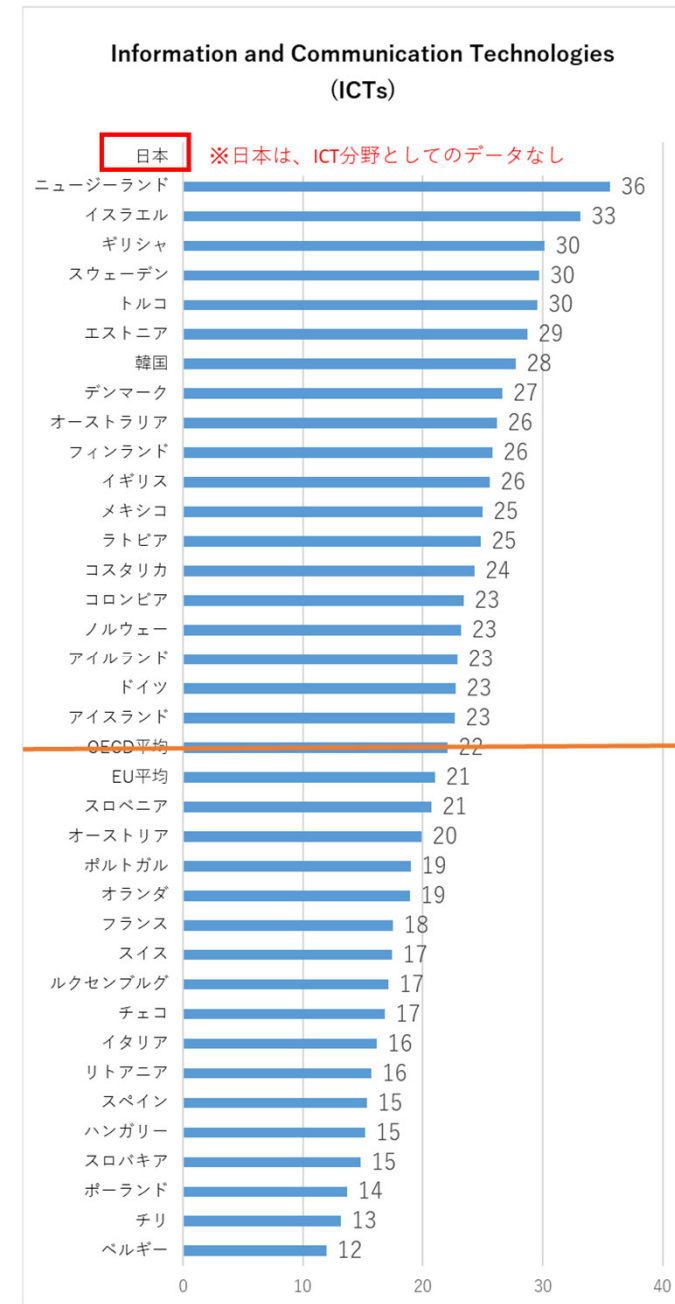
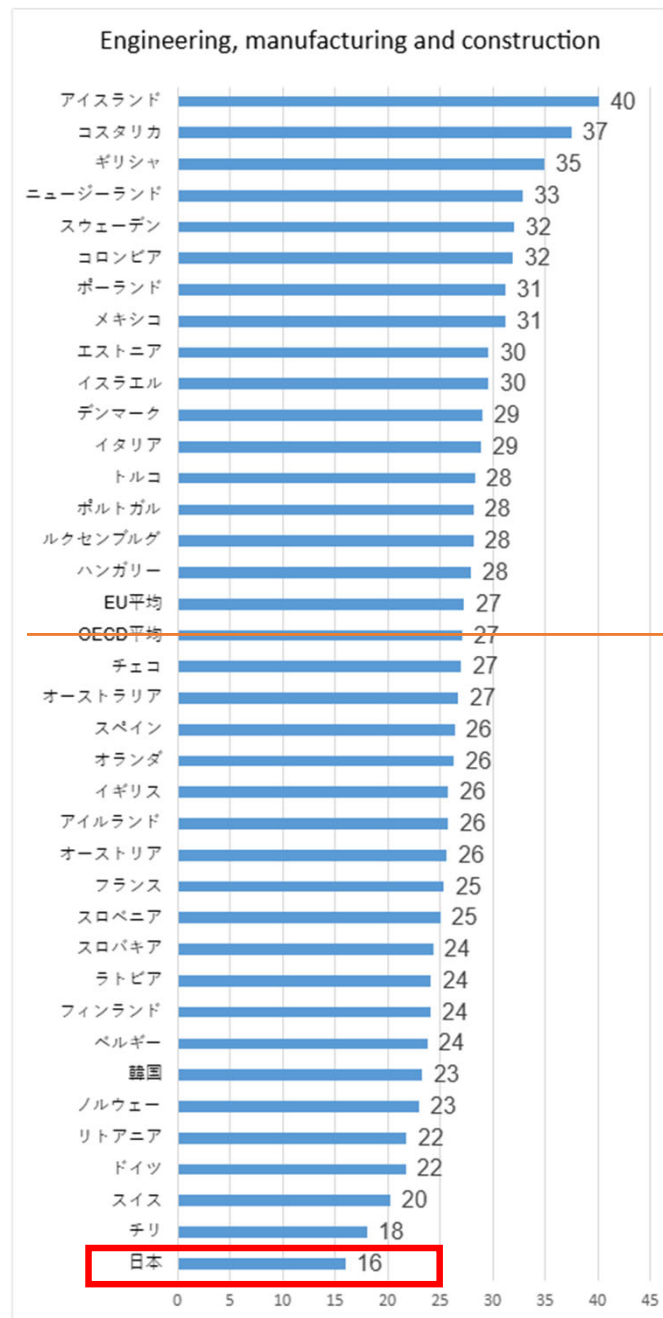
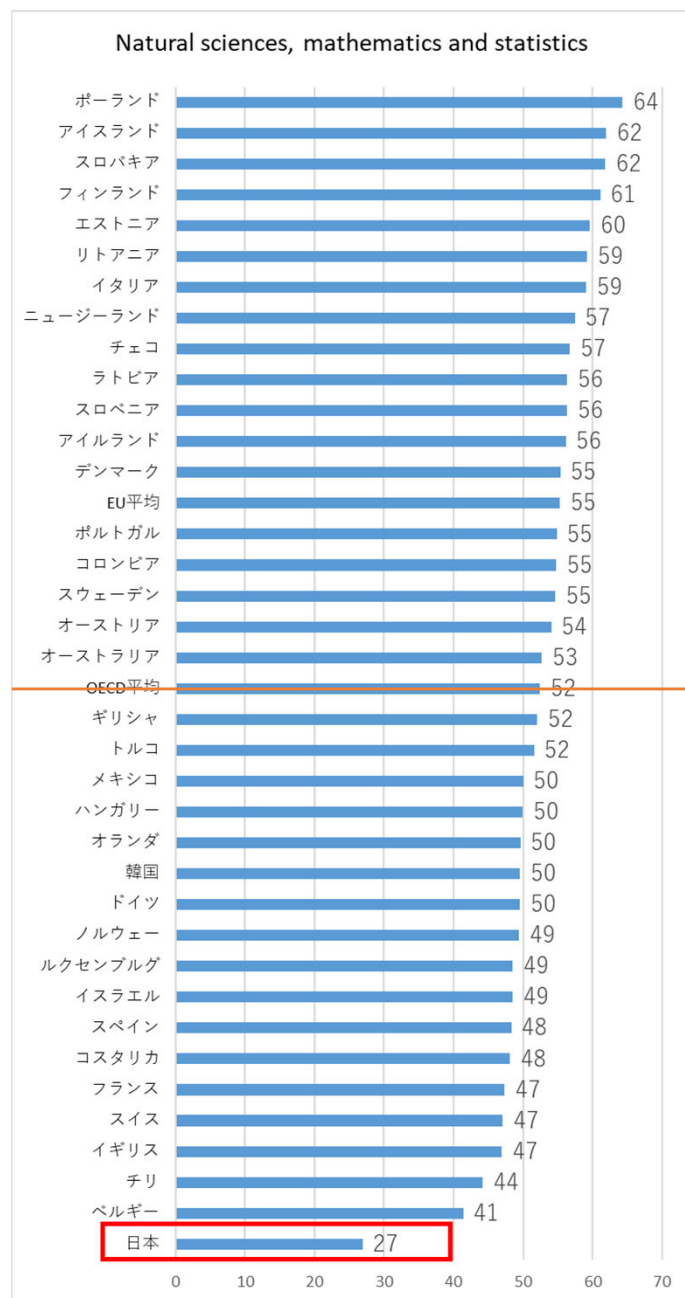
OECDによる学習到達度調査(15歳時点)

	全体	日本		OECD平均		
		男性	女性	全体	男性	女性
科学的リテラシー平均得点	547点 1位	548点 1位	546点 1位	485点	485点	485点
数学的リテラシー平均得点	536点 1位	540点 1位	531点 1位	472点	477点	468点
読解力平均得点	516点 1位	508点 1位	524点 4位	476点	464点	488点

※OECD PISA（Programme for International Student Assessment）2022 より作成
※順位はOECD加盟38か国中。
※調査段階で15歳3か月以上16歳2か月以下の学校に通う生徒が対象（日本では高校1年生）

科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状②

OECD諸国における分野別大学等入学者女性割合(2022年)



※OECD.statより作成 2022年データ (2024.11.12更新)

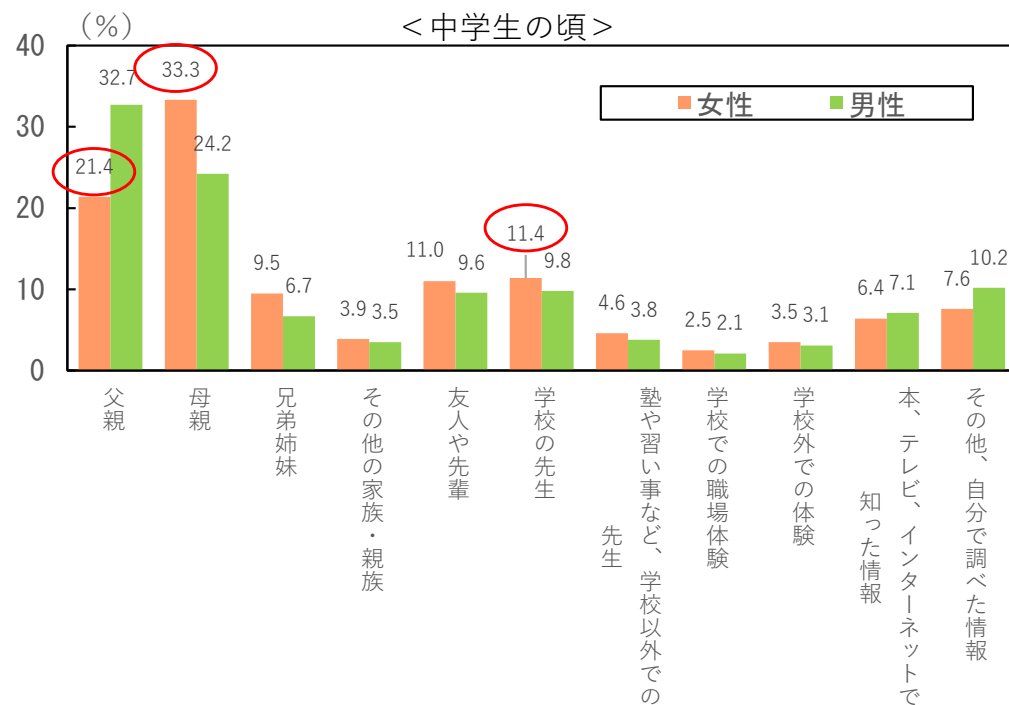
女子の進路選択への親の影響について

～内閣府調査より～

【調査結果】

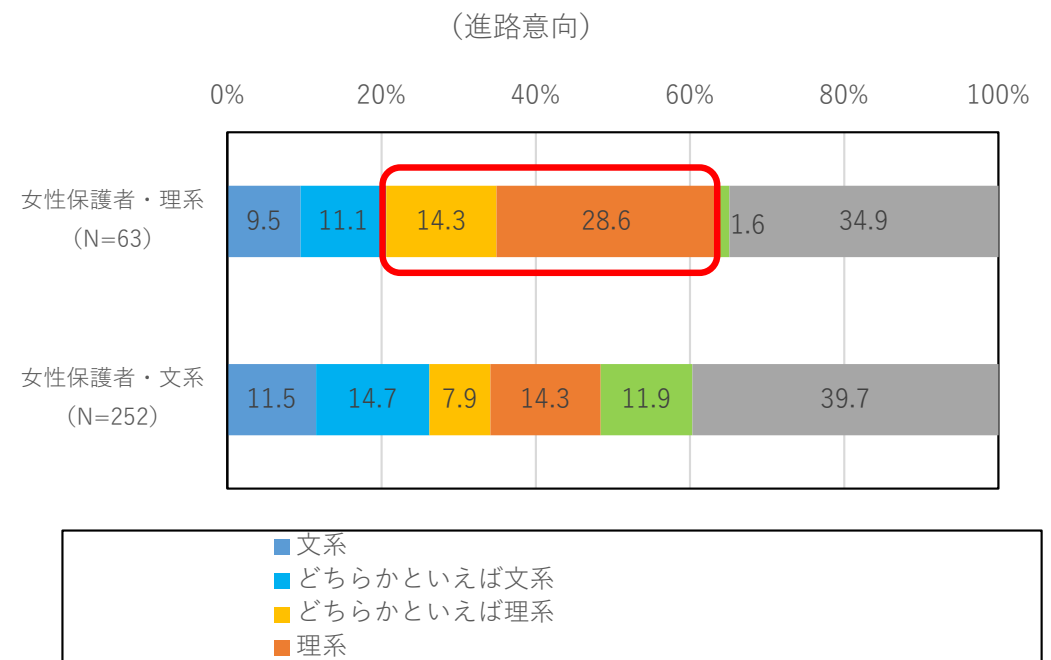
- ・中学生の頃に、働く上でのイメージや進路選択において影響を受けた人は、女性は母親、男性は父親と、同性の親の影響を顕著に受けている。
- ・また、女性保護者の最終学歴が理系の場合、その子（女子）は、将来の進路を「理系」とする割合が高くなっている。

進路選択において影響を受けたもの



※出所：「多様な選択を可能にする学びに関する調査」
(平成30年度内閣府調査)

女性保護者の最終学歴とその子(女子)の進路意向



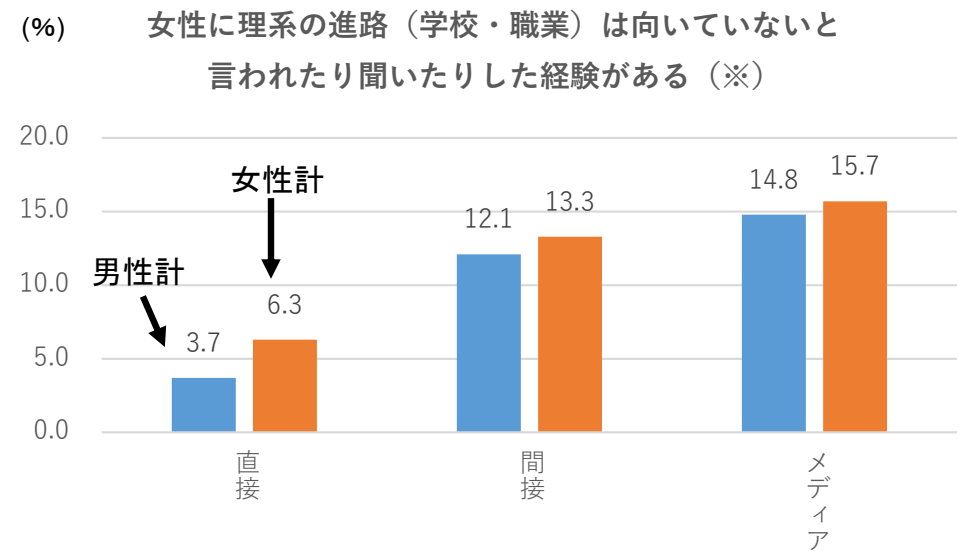
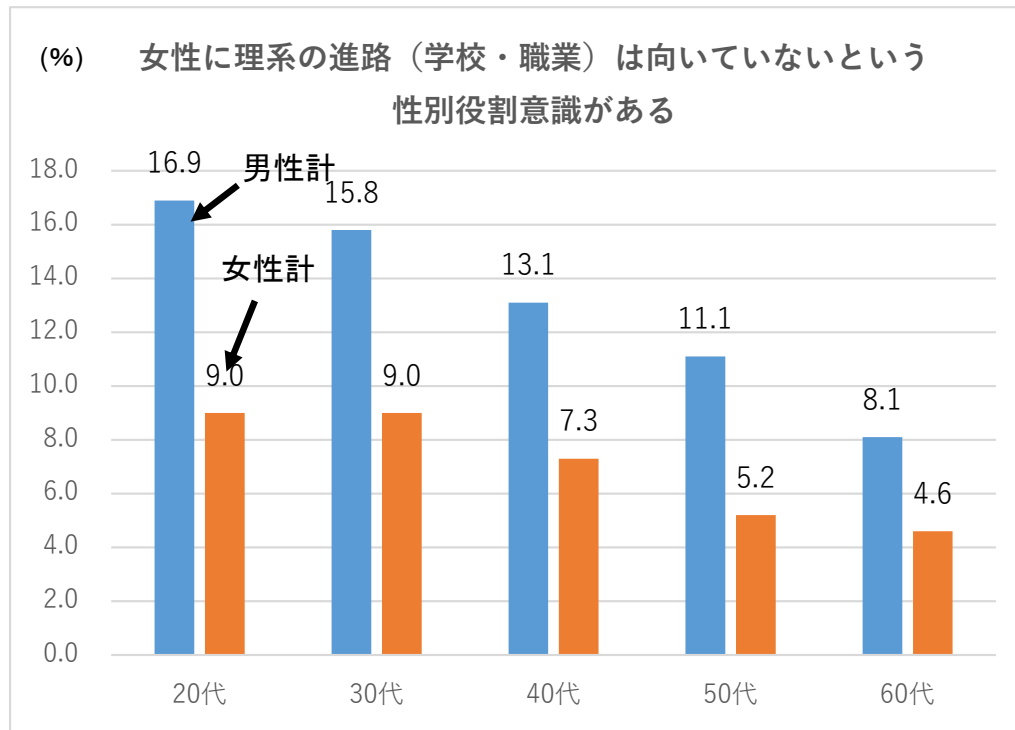
※出所：「女子生徒等の理工系進路選択支援に向けた生徒等の意識に関する調査研究」(平成29年度内閣府調査)
調査対象は中学2年生。

理系の進路選択に関するアンコンシャス・バイアスについて

～「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」より～

【調査結果】

- ・「女性に理系の進路（学校・職業）は向いていない」という測定項目について、「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答した者の割合は、いずれの世代でも男性の方が高い。
- ・一方、そうした発言を言われたり聞いたりした経験のある人数の割合は、直接・間接を問わず、男性より女性のほうが高い。特にメディアで見たり聞いたりしたことがあると回答した者の割合は、男女ともに約15%となっている。こうした経験が女子学生の進路選択に影響を与えていることも考えられる。



※【直接】直接言われたり聞いたりしたことがある
【間接】直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある
【メディア】メディアで見たことがある

※出所：内閣府男女共同参画局

令和4年度性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究

フォーカス・エリアについて（調査結果を踏まえた提言）

- 女性の理工系分野への進路選択を促進するうえで、人口「5万人未満」の地域は相対的に課題が大きく、今後重点的に取り組むべき地域と考えられる。



- 「5万人未満」の地域における課題

- 進路に関して、近隣に大学等の高等教育機関が少なく選択肢が狭い。
- 地域的に、理系的経験に関する資源が少ない。（イベント等の開催頻度が低い、イベント等へのアクセスが悪い 等）
- 家庭内に大学に関する有形無形の資源が少ない。（親世代における大卒者の比率が低い 等）

- 「5万人未満」の地域において今後求められる取組として、大きく以下の2点が挙げられる。

- 高等教育機関へのアクセスの改善

- （情報提供等を通じた、理工系分野への進学・職業イメージの向上）

- 生徒の進学意欲を高める観点から、理工系の学部で学んだり研究したりする内容の具体的なイメージや、卒業後の理工系分野での就職に関する情報提供を、中学生や高校生に対して積極的に実施。
- 家庭環境や居住地域により進学しにくい生徒に対し、大学進学及び入学後のサポート等を促進することも有効。

- 幼少期からの体験やイベント等を通じた、理工系分野への興味を深める機会の創出

- 出前実験教室やオンライン教室の開催のほか、スクールバス等を活用したイベントへのアクセスの向上。
- 5万人未満の市町村の児童・生徒が参加しやすいような工夫を講じるとともに、参加者の性別が偏らないよう、児童・生徒及びイベント登壇者の性別統計収集を必須とすることが望まれる。
- 市町村の協力体制の下、公民館等の地域の拠点を活用したオンラインイベント（パブリックビューイング等）の開催も一案。



内閣府の取組

理工チャレンジ（リコチャレ！） ～女子生徒等の理工系への進路選択を促進～ 取組概要



リコチャレは、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援するため、平成17年（2005年）より内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。



取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和7年度実績 129団体235イベント実施
約8,300名が参加

募集

リコチャレ応援団体

- ・理工チャレンジの趣旨に賛同する大学、企業、学術団体等 952団体
(令和7年8月31日現在)

ウェブサイト 「理工チャレンジ」

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



理工系女子応援 ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

理工系女子 応援ネットワーク

- ・リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体 232団体
(令和7年8月31日現在)

シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性（ロールモデル）提示等

STEM Girls Ambassadors による理工系女性人材育成

- ・STEM Girls Ambassadorsを派遣し、全国各地で講演等を開催

若手理工系人材 （ロールモデル） による出前授業

- ・人口5万人未満の市区町村の自治体や学校へ、企業・大学等の理工系人材を派遣

調査研究

- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択支援を目的とした各種支援策の調査研究、事例集作成
- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択を阻害するアンコンシャス・バイアスの払拭を目的とする研修用動画制作

ウェブサイト「理工チャレンジ」

【事業概要】

リコチャレ応援団体（※）の紹介、イベント等の掲載。

そのほか、先輩理工系女性からのメッセージを掲載するとともに、質問も可能。

※リコチャレ応援団体：952団体（うち、具体的な支援を行っている理工系女子応援ネットワーク団体：232団体）

応援団体数内訳（行政機関：58団体、企業：322団体、学術・研究機関等：143団体、大学等：375団体、その他：54団体）

（令和7年8月31日現在）



「リコチャレ応援団体」「理工系女子応援ネットワーク」の紹介

・団体個別一覧に戻る・企業一覧に戻る



旭建設株式会社

高時県日向市向江町1丁目200番地
・[旭建設株式会社](#) ロ

組織概要

「便利になった」「近くなった」「安心して暮らせる」「ありがとう」
ただその言葉をもらうだけでいい。家族に代わる仕事、四方よし（地域よし、発注者よし、企業よし、未来もよし）を目指して、昭和34年以来築き上げた経験を活かし、「土の道」を追求しています。
「地域よし」として地域に密着したボランティア活動（地域貢献活動）を、「発注者よし」として高品質の工事を完了させ、「企業よし」として社員の人財力向上を目指し、「未来もよし」として未来を担う子供たちに気づきの心を育ませています。
当社は土木工事の施工管理を主な仕事としており、建築・土木出身の技術者だけでなく、様々な学科の人財が活躍しています。そして「常に考える」の精神で、危機感と目標を、安全と健康の確保を最優先としながら業務を行い、挑戦し続ける会社であり続けます。



（平成30年3月完成）南橋市改良工事



（平成29年11月完成）種子田法面工事

理工系分野・部門の紹介

当社は、橋梁や法面、トンネルといった主に官公庁の土木工事一環を行う建設業です。暮らしやすい世の中にし、豊かな地域や国土を子供や孫の代まで残していくため日々仕事に励んでいます。
当社の仕事は施工管理です。施工管理とは、工程管理や安全管理、品質管理などを現場で行い、発注者との打合せや現場での指導を行う現場管理や監査業務が主な仕事です。女性技術者でも大いに活躍できる仕事です。現在では、多くの建設の企業で女性技術者が最前線に立ち立て活躍しています。
<<新人女性技術者の一日>>

♡入社2日目♡

酒井希実さん(23歳)の1日

5:30	起床
7:25	通勤・朝食
7:30	朝礼、KY活動

彼女が所属する
土木系企業に
入社して
1日の作業内容を振り返る。



女子中高生・女子学生の理工系分野への選択



リコチャレとは？
What's Rico-challenge?



リコチャレ
イベント情報
event information



先輩からの
メッセージ
message



「リコチャレ応援団体」
「理工系女子応援
ネットワーク」の紹介
support group



「リコチャレ応援団体」
「理工系女子応援
ネットワーク」の紹介
and cooperation

STDA Girls Ambassadors
(理工系女子応援大使)
の紹介
STDA Girls Ambassador

先輩からのメッセージ

・「先輩からのメッセージ」のトップページに戻る



酒井 希実さん

・[旭建設株式会社](#) 工事部アセットマネジメント部門

2017年に入社し、工事全体の管理やICT関連業務など、現場に携わった仕事をこなす。土木技術者として働き出し二年が経ちました。大学を卒業するまで、土木について勉強をしたことはなかったのですが、その分、日々新しい発見があり毎日が勉強で、充実した日々を送っています。

理工系分野を選択した時期・理由

短大2年生の時に、合同説明会で聞いた「職場に熱い仕事」「地域の為の仕事」という言葉に感銘を受けて入社を決めました。自分の住んでいるところが自然に囲まれていることもあり、自然に携わる仕事がしたいと思ったこと、そしてずっと住んで来た地元の為に何かしたい！そう感じたことも土木技術者の道に進むきっかけになりました。

現在の仕事（研究）の魅力やおもしろさ

橋を架けたり、道路を作ったり、様々な工程を経験できることが魅力的です。そして、現場は毎日少しずつ完成に近づいていく、そんな日々変わる現場を間近で見られることも、現場に携わる人たちの特徴だと思います。
そして、学生の頃に経験した「何かを成し遂げる為に、みんなで頑張る」という行為も経験できます。それも、現場毎に関わる人が違う為、その都度新しい喜びを得ることが出来ます。
『苦労した分、達成感がある』建設業界にはこの言葉がピッタリだと思います。

女子中高生・女子学生の皆さんへのメッセージ

『土木』と聞くと、毎日汗を流し、泥まみれになりながら頑張る仕事…そんなイメージをもたれる方が多いと思います。私もそう思っていました。実際は3次元のデータを作成したり、業者の方と打ち合わせをしたり、対外的な仕事が大半を占めています。安全かつ期限内で工事が完了できるように様々な仕事をこなしていく、それが建設業です。
期間行儀なく通っている職や道路、実際に作る側になってみると、ありがたいなと思うことが増えました。前に担当していた現場では高速道路の橋梁をつくる工事をしていましたが、その場所を通るたびに「私が関わった場所だ」と達成感を見えます。私達の仕事は、今も未来も大切にするお仕事です。自分の大好きな地域を守り、支えていく建設業界と一緒にチャレンジしてみませんか？

2025年7月

日	月	火	水	木	金	土
6月のイベント情報						
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

2025年8月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6
9月以降のイベント情報						

進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2025 動画公開セミナー（シンポジウム）

【事業概要】

- ・女子中高生、保護者、教員等を対象に、内閣府・文部科学省・JST・経産省の共催にて開催
- ・令和7年7月7日公開

進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2025 動画公開セミナー



基調講演

田中 純子

広島大学 理系・副学長 特任教授

プロフィール

お茶の水女子大学理学部卒、医学博士（広島大学）。専門は疫学、特にウイルス肝炎の疫学。2009年広島大学大学院教授等を経て現職。ウイルス肝炎の疫学研究を国内外で実施し、医療施策へ貢献。中国文化賞（中国新聞社）、ロイヤル・モニサボン勲章（カンボジア王国）、Elimination Champions 2023（Task Force for Global Health, CGHE）等受賞

理系で広がる
私の未来
2025



講演

村上 慧

関西学院大学 理学部化学科 准教授

プロフィール

2012年京都大学大学院工学研究科材料化学専攻博士後期課程修了
博士（工学）の学位を授与
2012年 日本学術振興会 特別研究員（PD）
2013年 京都大学白眉センター 特定助教
2014年 名古屋大学物質科学国際研究センター 助教
2016年 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授
2020年より現職

理系で広がる
私の未来
2025



理系で活躍する先輩による経験談発表

竹下 未来

パナソニック ホールディングス株式会社
MI本部 先進メカトロニクスシステム開発センター
先進メカトロニクス開発一部 制御開発課 シニアエンジニア

プロフィール

福岡県出身。高専卒業後、九州工業大学情報工学部へ編入し、2021年に同大学大学院で博士前期課程を修了。学生時代は身体の状態を測定するセンサを3Dプリンターでつくる研究に取り組む。大学院修了後は、「ものをつくるための機械」を設計する仕事がしたい、という思いからパナソニック ホールディングス株式会社に入社。現在は、次世代半導体や再生医療向けの装置開発を担当。

理系で広がる
私の未来
2025



永塚 尚子

海洋研究開発機構 地球環境部門
地球表層システム研究センター 副主任研究員

プロフィール

雪氷学・地球化学の研究者。千葉大学理学部地球科学科で初めて氷河に出会い、その魅力に惹かれて、同大学院理学研究科（現・融合理工学府）の修士課程および博士課程への進学を決意。2013年に学位を取得後、国立極地研究所の研究員を経て、2024年より海洋研究開発機構の副主任研究員。これまで、アラスカやグリーンランドをはじめとする世界各地の氷河で調査を行い、ミクロなサイズの鉱物から、地球規模の気候・環境変動を解明することに取り組んでいる。

理系で広がる
私の未来
2025



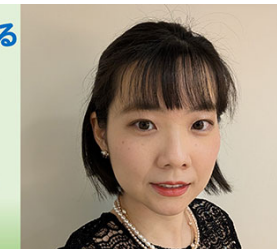
北村 由羽

日東電工株式会社 全社技術部門 研究開発本部
分離技術研究センター 研究員

プロフィール

2018年3月 関西学院大学 理工学部 化学科 卒業
2020年3月 関西学院大学 理工学研究科 化学専攻 修士課程 卒業
2023年3月 関西学院大学 理工学研究科 化学専攻 博士課程 卒業
2023年4月 日東電工株式会社 新卒入社
茨木事業所のR&D部門に配属
現在入社3年目であり、環境貢献テーマに従事

理系で広がる
私の未来
2025



山下

合志技研工業株式会社
合志製造部 機種計画課 試作係

プロフィール

合志技研は、バイクの排気系部品（マフラーやエキパイ）と、フレームをメインに製作している会社です。私はモノづくりが好きで、かつ、バイクも好きなのでこの会社に入社することを決めました。入社して2年間は、開発段階（発売前）の排気系部品を溶接して試作する業務に携わり、現在は、試作した製品を測定し検査を行う業務に携わっています。学生時代に得た、図面を読む、描く力、工作機械の技術、溶接の経験をフル活用して仕事をしています。

理系で広がる
私の未来
2025



STEM Girls Ambassadors派遣

【事業概要】

女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。ロールモデルの提示策を強化すべく、令和4年度に、メッセージ動画を男女共同参画局公式YouTubeにて公開。

【主な活動】

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上でのメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動

Ambassador一覧（令和7年3月31日時点） ※敬称略・五十音順	
阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル執行役員兼インド現地法人代表取締役会長
杉本 雛乃	経済産業省
ズナイデン 房子	日本マクドナルド株式会社 取締役上席執行役員 CMO
田中 純子	広島大学理事・副学長/ 大学院医系科学研究科特任教授
玉城 絵美	H2L,Inc.CEO、琉球大学工学部教授、東京大学大学院工学系研究科教授
中島 さち子	音楽家、数学研究者、株式会社steAm代表取締役
行木 陽子	中央大学 特任教授、NPO法人日本女性技術者フォーラム 理事長
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺 美代子	日本大学 常務理事、NPO法人ウッドデッキ 代表理事

STEM GIRLS AMBASSADORS
理工系女子応援大使のご案内

理工系の最前線で活躍するSTEM Girls Ambassadorsが、理工系の魅力をお伝えします。講演会やイベントへの派遣を希望する学校や地方公共団体はお気軽に御相談ください！

派遣費用は内閣府が負担します！

問合せ先 内閣府男女共同参画局推進課 理工チャレンジ事務局
03-6257-1181 g.riko-challe@cao.go.jp

STEM Girls Ambassadors 派遣申請フォームはこちら <https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0429.html>

令和6(2024)年度イベント数	
令和6(2024)年度イベント数	16イベント
令和5(2023)年度イベント数	
令和5(2023)年度イベント数	18イベント

令和6年度 若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業

●事業の目的

人口5万人未満の市区町村を重点的に対策すべき地域と定め、若手理工系人材による出前授業を実施することで、女子生徒の理系的体験の機会の創出と、地域におけるロールモデルの掘り起こしを目的とする。

●事業概要

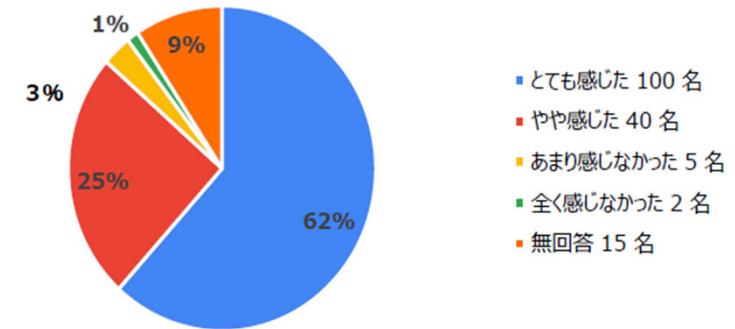
- ・実施地域：5地域（人口5万人未満の市区町村から選定）

実施地域	実施日
栃木県那須町	令和6年10月15日
長崎県雲仙市	令和6年11月2日
宮城県東松島市	令和6年11月16日
香川県小豆島町	令和6年12月18日
岡山県新見市	令和7年1月13日

- ・参加対象：小・中・高校女子生徒（男子生徒も可）、保護者・教員・地域住民等
- ・参加者数：50名程度（地域の教育委員会や学校と連携して募集）
- ・ロールモデル：理工系分野への従事期間が10年以内の若手女性人材（1地域3名）
（当該地域の地元企業・大学・研究機関等で活躍する理工系人材等）
- ・プログラム：ロールモデルの講演や専門分野に応じた実験等の体験
（2～3時間程度）
- ・参加者アンケート：出前授業の満足度、理工系進路選択への興味関心度、理工系進路選択についてのメリット・デメリット等

●令和6年度開催実績（総括）

- ・延べ参加者数：292名
（うち、児童・生徒：174名、保護者・教員等：118名）
- ・イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒等の割合：87%



【授業の様子】



男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり ～中学校を中心として～

【事業概要】

教員等の指導者の方々へ向けて、

○男女共同参画の視点の必要性

○無意識に持っていた固定概念・考え方や言動への気付き

＜無意識に行っている言動＞

- ・テストの点数の良かった女子生徒に、「女子なのに数学／理科ができて、すごいね」と言葉をかけている
- ・理科の実験授業において、操作は男子、記録は女子、という生徒間の役割分担が自然とできており、それに任せている

○男女共同参画に配慮した理数授業の事例

○教員のアドバイスをきっかけに理数系に進んだ女性の事例

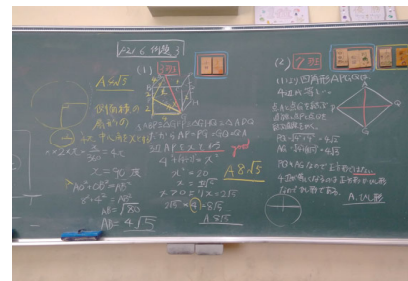
等から構成される、啓発資料「男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり～中学校を中心として～」を作成。



▲じゃんけんをしながら確率を計算する様子



▲授業で生徒が作成したイルミネーションの一部



▲生徒が実際に行った板書発表の内容

⇒ 文部科学省と連携して普及を図り、教員等の指導者の無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払しょくに取り組む。

※文部科学省から都道府県教育委員会に対し通知を発出し、文科省HPにリンクを掲載。

啓発資料

第3章：H頃のふるまいを振り返ろう

■第3章の目的

この章では、誰もが持っているアンコンシャス・バイアス（潜在的に持っている思い込み）に自ら気づき、男女共同参画の視点に配慮した授業の実現に向けたふるまいや生徒との接し方についてどのように改善を図るかを明確にするための活動を紹介する。
なお、本書の第2章「自分を知ろう」に掲載していた「啓発書籍」について改めて（55頁）も、自身のバイアスに気づくための1つの方法です。

■「啓発書籍」を揃えてみてくださいの解説

自分が書いた啓発書籍の絵を、以下の観点で振り返ってみよう。

人種	性別	職業・誌
髪型	居場所 (どこにいるか)	行動 (何をしているか)

○「イギリスとアメリカの学校でこの活動を実施したところ、大多数の生徒が白人で、職業をかけ、髪を塗るし、残っている髪型を塗った男性が、 $1+1=2$ のような簡単な式が書かれた黒板の前に立っている絵」を描きました。

○近年の研究によると、社会の男女平等が進んでいるにも関わらず、女性を数学者として認識している人は男女とも非常に少ないということが指摘されています。また数学者のみならず科学者についても同様の研究結果が出ています。こうした状況を改善するには、理工分野における女性のロールモデルを周知し、過去に数学者として認められた女性が残した業績を伝えることが重要であると考えられています。

振り返ってみていかがでしたでしょうか？ 数学者やその他の研究を題材にしたり、生徒と一緒に実施してみると新たな気づきを得ることができそうです。

【キーワード】男性領域/ジェンダー・ステレオタイプ

■指導者教育事例

2020年にオーストラリアのビクトリア州で公開された啓発プログラムに掲載されている活動の中から、本書では啓発に資する以下の3つを紹介する。
いずれの活動も他教科にも応用でき、特別な教材等は必要なく、手軽に実施できるものが多く、教育センターや各学校現場で実施する教員向け研修のワークショップなどに取り入れてみてほしい。また、教員と生徒が一緒に取り組めるものもあるので、授業の一環として活用いただくことも可能だ。

No.	活動名	対象者	活動概要
1	アンコンシャス・バイアス啓発	教員	✓ 疑似的に作成した生徒のプロフィールを見ながら、その生徒の将来について教員が結論を出す
2	数学者に対する態度	教員・生徒	✓ 生徒に向けたアンケートを実施し、教員が結果を分析する（生徒が結果を分析することも可能である）
3	授業の観察	教員	✓ 教員が同僚の授業を観察し、男女を公平に扱っているかをチェックする

出典：Hogben, H. R. Gender and Mathematics Secondary Materials, Issues in the Teaching of Mathematics, State of Victoria Department of Education and Training, 2020.



▲男女別グループでの実験の様子

女子生徒の理工系進路選択を阻害する アンコンシャス・バイアスへの気づきを促す啓発動画

【事業概要】

- ・「女子は数学が得意ではない」等のアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が、女子生徒の理工系進路選択を阻害することがあります。
- ・そうしたアンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- ・動画は、学校の授業や実験における教員の声掛け、家庭における保護者の反応など、4つの事例から構成されています。

★動画は下記より御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=j97LxeLB-TQ>

Case1



★数学で高得点を取った女子生徒に教員が掛けた言葉は・・・

Case2



★理科の実験で器具操作と記録の役割分担が指示されるが・・・

Case3



★ガスバーナーの扱いに慣れていない女子生徒への教員の配慮は・・・

Case4



★工学部の大学案内を見て楽しそうに話す女子生徒への母親の反応は・・・



文部科学省の取組

文部科学省における理工チャレンジに関する取組

- 「令和7年度「理工チャレンジ」説明会」について、教育委員会・教職員等に周知
- 教育委員会等への事務連絡発出、文科省メールマガジンによる「夏のリコチャレ2025～理工系のお仕事体感しよう！～」の周知
- 「夏のリコチャレ2025～理工系のお仕事体感しよう！～」を内閣府・経団連と共催
- 「進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2025動画公開セミナー」の文科省SNS・メールマガジンでの周知



文部科学省における取組

- 女子中高生の理系進路選択支援プログラム
- 入学者の多様性確保に向けた選抜について
- 学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム
- 学校と地域で育む男女共同参画の促進
(小学生・中学生向けの教材)

第5次男女共同参画基本計画における文部科学省関連主要事項

第4分野 科学技術・学術における男女共同参画の推進

○科学技術・学術分野における女性の参画拡大

・研究環境のダイバーシティ実現に関する優れた取組を実施する大学等への支援。

・優れた研究者が出産・**○男女の研究者・技術者が共に働き続けやすい研究環境の整備**

育児による研究中断後に、円滑に研究現場に復帰することを支援。

○女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成・

・女子中高生の理工系分野への興味関心を高め、適切な進路選択を可能にするための取組の支援。 等

<関連成果目標>

○大学の理工系の教員(講師以上)に占める女性の割合

理学系:8.0%/工学系:4.9%(2016年)→**理学系:12.0%/工学系:9.0%(2025年)**

○大学の研究者の採用に占める女性の割合(一部抜粋)

理学系:17.2%/工学系:11.0%(2018年)→**理学系:20%/工学系:15%(2025年)**

○大学(学部)の理工系の学生に占める女性の割合

理学部:27.9%/工学部:15.4%(2019年)→**前年度以上(毎年度)**

第5分野 女性に対するあらゆる暴力の根絶

○子供、若年層に対する性的な暴力の根絶に向けた対策の推進

・本年6月に策定した、「性犯罪・性被害対策の強化の方針」等に基づき、子供を性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にしないための教育を推進。

・**教育・保育施設等**や子供が活動する場(放課後児童クラブ、学習塾、スポーツクラブ等)において、**子供に対するわいせつ行為が行われないよう、法令等に基づく現行の枠組との関係を整理し、海外の法的枠組も参考にしつつ、そこで働く際に性犯罪歴がないことの証明書を求めることを検討するなど、防止のために必要な環境整備を図る。** 等

第7分野 生涯を通じた健康支援

○スポーツ分野における男女共同参画の推進

・指導者を目指す女性競技者等に対するコーチングにおける女性特有の身体的特徴や、ニーズ等への配慮、ハラスメント等に関する研修の実施。

・スポーツ団体における女性役員比率向上に向けた取組の支援及び女性役員候補者の育成にむけた研修の実施。 等

<関連成果目標>

○スポーツ団体における女性理事の割合

15.7%(2019年3月時点) → **40%(20年代の可能な限り早期に)**

第10分野 教育・メディア等を通じた意識改革、理解の促進

○男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実

・児童生徒の発達段階に応じて、社会科、家庭科、道徳、特別活動等において、男女の平等や男女相互の理解と協力の重要性について指導。

・大学、地方公共団体や男女共同参画センター等と連携し、学び直しを通じて女性のキャリアアップやキャリアチェンジ等を総合的に支援する取組を促進。

○学校教育の分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大

・教育委員会や学校における、女性の意思決定層への積極的な登用の促進。 等

<関連成果目標>

○初等中等教育機関の教頭以上に占める女性の割合

校長:15.4%/副校長・教頭:20.5%(2019年)

→**校長:20%/副校長・教頭:25%(2025年)**

○大学の教員に占める女性の割合

教授等:17.2%/准教授:25.1%(2019年)

→**教授等:20%(早期)、更に23%を目指す(2025年)**

准教授:27.5%(早期)、更に30%を目指す(2025年)

○都道府県及び市町村の教育委員会のうち、

女性の教育委員のいない教育委員会の数

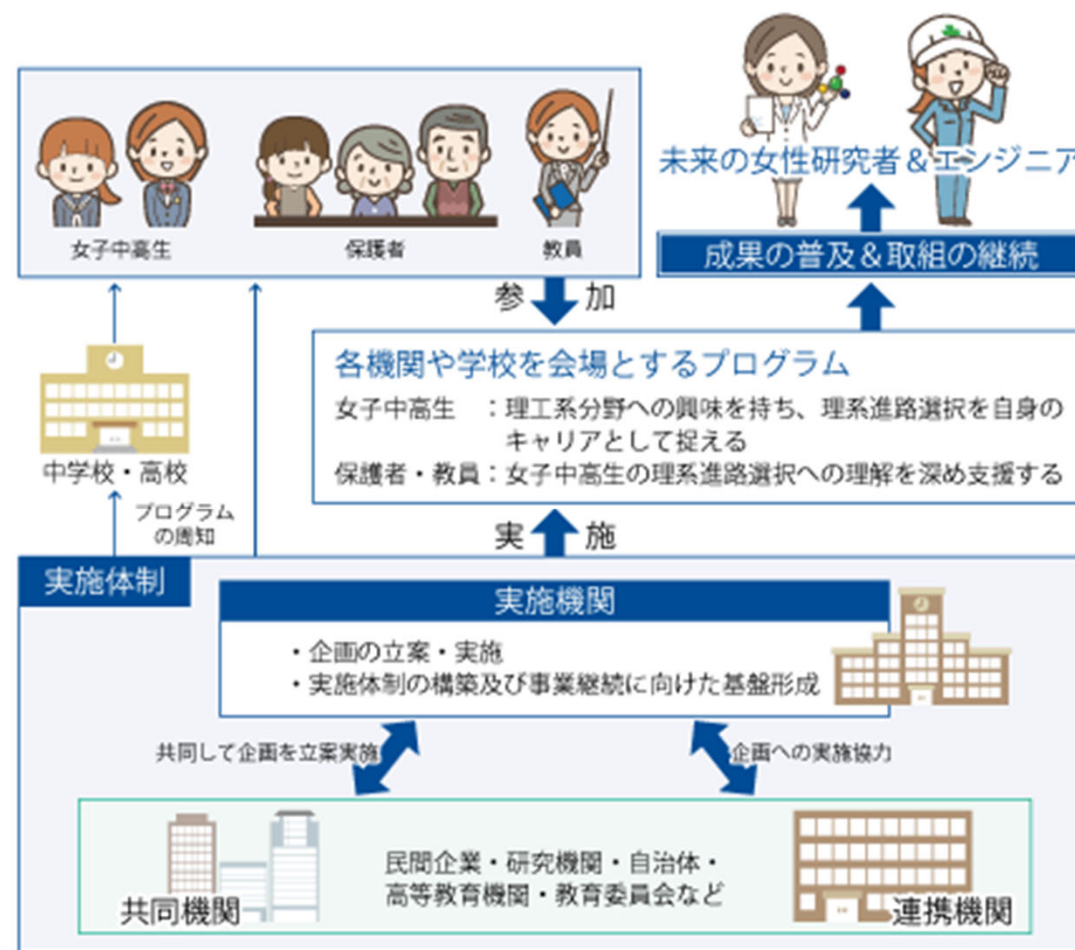
62/1,856 (2019年)→**0(2025年)**

事業の目的・目標

- 女子中高生の理工系分野に対する興味・関心を高め、更に意欲・能力を伸長させる機会を提供することで、理工系分野への進学を促進するため、科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生などと女子中高生との交流機会の提供や、シンポジウムや出前授業などの取組に加え、地域や企業等と連携した取組などを実施する大学等を支援する。

支援の概要

- 採択期間：3年間
- 実施規模：17拠点の大学・高専等を含めた連携機関等
(うち令和8年度新規：9拠点)
- 支援額：年間300～600万円/機関
- 対象：女子中高生、保護者、教員等
- 内容：シンポジウム開催、実験、出前講座、理系キャリア相談会等



女子中高生の理系進路選択支援プログラムの概要

児童・生徒の興味・関心の向上

「文理選択を迷っている/考えていなかった」参加生徒のアンケート回答結果（R6・全実施機関総計）

科学技術や理科・数学に対する興味・関心が高まった	83%
科学技術や理科・数学に対する学習意欲が高まった	75%
理系の進路を前向きに選択しようと思うようになった	66%
理工系分野の職業につきたいと思うようになった	51%

左表集計対象：
実施機関の取組に参加した生徒のうち、「文理選択を迷っている/考えていなかった」と回答した2,765～2,779名※
※無回答者は集計から省いた

理系女性のロールモデルの周知



熊本大学の
ロールモデル講演会



佐賀大学のロールモデル集



保護者・教員へのアプローチ

1. 保護者への進路選択支援イベント

大学教員等から保護者に対して、理系進路選択に関する情報提供を行う

2. 教員向けの情報提供

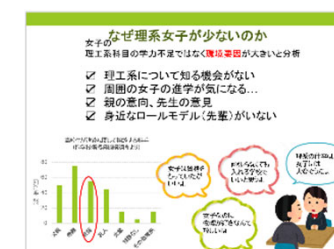
校長会等の既存の集会を活用し進路選択支援に関する理解を深める講演を行う



佐賀県高等学校校長会での講演



保護者のための男女共同参画入門講義



講演スライドの抜粋

入学者の多様性確保に向けた選抜について

■背景

- 多様な価値観が集まり新たな価値を創造するキャンパスを実現する観点から、各大学の創意工夫の一方策として、アドミッション・ポリシーに基づき、各大学が**キャンパスに多様性をもたらすことができることを考える者を対象とする選抜を実施することも有効**
- **そうした選抜が実施できることを明確にするため**、入学者選抜の基本方針である「大学入学者選抜実施要項」の**入試方法に、令和5年度より「多様な背景を持った者を対象とする選抜」を追加**

■令和8年度大学入学者選抜実施要項（令和7年6月3日付文部科学省高等教育局長通知）（抄）

第3 入試方法

1 （略）

2 上記1（1）から（3）の入試方法【補記：一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜】において、各大学の判断により、入学者の多様性を確保する観点から、入学定員の一部について、以下のような多様な入学者の選抜を工夫することが望ましい。

（1）高等学校の専門教育を主とする学科（以下「専門学科」という。）又は総合学科卒業生及び卒業見込み者

（2）帰国生徒（中国引揚者等生徒を含む。）又は社会人

（3）家庭環境、居住地域、国籍、性別等に関して多様な背景等を持った者

家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因により進学機会の確保に困難があると認められる者その他各大学において**入学者の多様性を確保する観点から対象になると考える者**（例えば、理工系分野における女子等）について、**入学志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視した評価・判定を行うことが望ましい。**

その際には、こうした**選抜の趣旨や方法について社会に対し合理的な説明**を行うことや、入学志願者の**大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を適切に評価**すること。

【参考】理工系の女子を対象とする選抜を実施する国公立大学（令和8年度入学者選抜）

【38大学 49学部（国立：34大学 44学部、公立：4大学 5学部）】

※青塗：令和8年度入学者選抜より実施するもの【8大学・12学部】

	大学	設置主体	学部等	入試方法	募集人員
1	室蘭工業大学	国立	理工	総合型	15
2	北見工業大学	国立	工	総合型	18
3	岩手大学	国立	理工	総合型	6
4	山形大学	国立	工（フレックスコース）	総合型	3
5	福島大学	国立	理工学群	総合型	8
6	東京科学大学	国立	理学院	総合型	15
			工学院	総合型	70
			物質理工学院	総合型	25
			情報理工学院	総合型	20
			環境・社会理工学院	総合型	9
			生命理工学院	学校推薦型	15
7	金沢大学	国立	理工学域	総合型	44
8	福井大学	国立	工	総合型／学校推薦型	15／10
9	滋賀大学	国立	データサイエンス	総合型	20
10	京都大学	国立	理	総合型	15
			工	学校推薦型	24
11	広島大学	国立	理	総合型	7
			工	総合型	15
			情報科	学校推薦型	15
12	香川大学	国立	創造工	総合型	3
13	愛媛大学	国立	工	総合型	13
14	佐賀大学	国立	理工	総合型／学校推薦型	12／3
15	琉球大学	国立	工	総合型／学校推薦型	10／10
16	秋田大学	国立	総合環境理工	学校推薦型	15
17	茨城大学	国立	工	学校推薦型	15
18	埼玉大学	国立	工	学校推薦型	20

	大学	設置主体	学部等	入試方法	募集人員
19	千葉大学	国立	情報・データサイエンス	学校推薦型	15
20	電気通信大学	国立	情報理工学域	学校推薦型	5
21	新潟大学	国立	工	学校推薦型	25
22	富山大学	国立	工	学校推薦型	13
23	山梨大学	国立	工	学校推薦型	14
24	名古屋大学	国立	工	学校推薦型	29
25	名古屋工業大学	国立	工	学校推薦型	28
26	三重大学	国立	工	学校推薦型	8
27	大阪大学	国立	基礎工	学校推薦型	20
28	神戸大学	国立	システム情報	学校推薦型	15
29	和歌山大学	国立	システム工	学校推薦型	10
30	島根大学	国立	総合理工	学校推薦型	20
			材料エネルギー	学校推薦型	6
31	長崎大学	国立	情報データ科	学校推薦型	10
			工	学校推薦型	12
32	熊本大学	国立	情報融合学環	学校推薦型	8
33	大分大学	国立	理工	学校推薦型	14
34	宮崎大学	国立	工	学校推薦型	14
35	公立小松大学	公立	生産システム科	学校推薦型	5
36	兵庫県立大学	公立	工	学校推薦型	17
37	山陽小野田市立山口東京理科大学	公立	工	学校推薦型	11
38	高知工科大学	公立	データ&イノベーション学群	学校推薦型	不明
			システム工学群	学校推薦型	不明

注：「令和8年度国公立大学入学者選抜の概要」及びウェブ上に公表されている各大学の募集要項等に記載された募集人員を基に作成。なお、高知工科大学の募集人員について、選抜要項上は「若干名」と記載あり。

【参考】理工系の女子を対象とする選抜の事例

東京科学大学

女子枠の導入

ダイバーシティ&インクルージョンを実現するための一歩として、2024年4月入学の学士課程入試から、総合型選抜および学校推薦型選抜において性別によらず出願することができる一般枠と、女性のみが出願可能な女子枠という2つの枠を設けました。

2024年4月入学から「女子枠」を導入

2024～2025年度入試にかけ、総合型選抜及び学校推薦型選抜に合計**149人**の**女子枠**を導入

学士課程入学者全体で**20%以上**の**女性比率**を目指す

我々が目指すこと

- ・ 本学の学修環境を多様性のある理想的なものに近づけます。
- ・ より多くの女性科学者・技術者を社会のさまざまな分野に輩出します。

さらに

- ・ これを起点に波紋が広がり、本学だけでなく社会全体に、真に多様性を受容する環境が育つことを期待します。

■ 募集人員（令和8年度入学者選抜）

154名（総合型【理学院、工学院、物質理工学院、情報理工学院、環境・社会理工学院】：139名、学校推薦型選抜【生命理工学院】：15名）

■ 選抜方法（令和8年度入学者選抜）

入学者の選抜は、学力検査（共通テストと本学が実施する教科・科目に係る個別テスト）、志願理由書、調査書及び各学院が指定する提出書類によって行う。

（例）工学院の場合

大学入学共通テスト： 6教科8科目（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語、情報）

総合問題（面接）：ダイバーシティ社会に貢献するために工学院で学びたいこと、及び自身の将来像を踏まえ他志望動機、並びに与えられた物理や数学（数学Ⅲを含む）のテーマに関して論理的かつ明解に説明する能力を評価する。

＜東京科学大学ウェブサイト及び令和8年度同大学入学者選抜要項より＞

金沢大学（理工学域）

■ 概要

本学では、共生社会の実現を目指して、様々な個性を持つ学生や教職員が互いの特性を尊重し、それぞれの資質や能力を十分に発揮できるダイバーシティ（多様性）に関する取り組みを行っており、その活動の一環として、諸外国の大学に比べて比率が低い理工系の女子学生や女性研究者・技術者の育成を支援しています。さまざまな科学技術のイノベーション（新しい価値の創造）に女性の視点を反映させることは大学や社会全体にとっても重要な課題となっています。

これらの社会的要請に応えるため、理工学域では、「女子枠特別入試」を導入し、入学を希望する学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、口述試験により「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

■ 募集人員（令和8年度入学者選抜）

44名（総合型）

■ 選抜方法（令和8年度入学者選抜）

（例）理工学域 数物科学類 の場合

1. 出願書類（調査書、志願理由書、活動記録）等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します
2. 大学入学共通テスト（※）で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します

1. 2. の評価を総合して選抜を行います。

（※）大学入学共通テストの利用教科・科目名

国 『国語』

数 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』

理 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2

外 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1

＜令和8年度金沢大学入学者選抜要項より＞

学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム

～「無意識の思い込み」(アンコンシャス・バイアス)に気付くために～

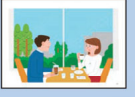
男女共同参画の推進には、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくことが必要です。文部科学省では、初等中等教育の学校現場における男女共同参画について、教員自身の「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付きを促し、男女共同参画の基本理念や意義を整理するとともに、日常の教育活動や学校運営などを男女共同参画の視点から捉え直し、学校の管理職や教員自身の指導のヒントにつながる研修プログラムを作成しました。

＜研修プログラムで提供する教材＞

教材は4種類の「動画教材」の他、「ワークシート」、研修プログラムを企画・実施するための「実施の手引き」があります。

◆ 動画教材

ケース動画（11の教育現場）の他、ケース動画のポイントを示す解説動画、社会的な背景をまとめた講義動画などを掲載しています。

主な対象	ケース(場面)			
小学校教員 【初期・中堅】	ケース1 教室の日常 (家庭科・掃除)	ケース2 学校行事(卒業式)	ケース3 小学校での キャリア教育	ケース4 ワーク・ライフ・ バランス
				
中学校・高校教員 【初期・中堅】	ケース5 教室の日常 (理科の実験)	ケース6 学校行事(体育祭)	ケース7 大学の 専攻分野の選択	
				
管理職／管理職候補 教育委員会教職員 【管理職・ミドルリーダー】	ケース8 教員の日常 (校務分掌)	ケース9 教員の日常 (校長会議)	ケース10 ミドルリーダー への声かけ	ケース11 男性教員の 育休取得
				

◆ ワークシート

ケース動画を視聴したあとに、ケースを見て気付いたこと、ディスカッションをして思ったこと、解説動画を視聴して研修を振り返り、考えたこと等を記入します。

◆ 実施の手引き

動画教材を対象や時間、目的等にに合わせて組み合わせて活用し、教員研修プログラムを企画・実施するための手引きです。

＜研修の流れ＞

【基本ワーク（1回のワークでSTEP1～3を行う場合）】

①時間 60分 ②形態 校内研修や教育センター等主催

※「実施の手引き」では、応用編として25分～90分のワークの展開例も示しています。

STEP1-1 研修の説明 【全体】 1分	参加者に研修の目的や流れを説明する
STEP1-2 ケース動画視聴(個人ワーク含む) 【全体】 8～10分	ケース動画を視聴しながら、イラストを見たり、会話を聞いたりして気付いたことや、それと関連して考えたことをワークシートに記入する
STEP2-1 グループディスカッション 【グループ】 15～20分	小グループに分かれて、男女共同参画の視点からイラストを見て気付いたことや、それと関連して自分の生活や経験から考えたことなどについて、意見交流を実施
STEP2-2 全体共有 【全体】 4～9分	各グループの話し合いの内容や感想等を全体で共有する イラスト教材の話題だけでなく男女共同参画の視点、課題とつながって考えられるような意見を取り上げる
STEP3-1 まとめ・解説動画の視聴 【全体】 27分	まとめ・解説動画を視聴する ※まとめ動画は、視聴したケースに関わらず共通で視聴できる ※解説動画については、視聴したケースに合わせて選択する
終了後～翌日 研修の振り返り	研修の振り返りをワークシートに記入する ※研修の振り返りは、60分のワークには含まない

＜詳しくは、こちらから＞

●男女共同参画の推進に向けた教員研修モデルプログラムの開発

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1416258_00002.htm



学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム

ケース7 大学の専攻分野の選択

放課後、クラスの生徒と雑談している時、生徒は、進学する大学や専攻分野について迷っていることや、親の意見も気にしていることなどを話し出しました。

女子生徒「最近、工学部っておもしろそうと思っているんです。だけどうちの親は、文系のほうが成績がいいのだし、就職先も見つけやすいから文系に行ったほうがいいって言うんです。それに、女なんだから東京なんかに行かないで家から通える大学にしろとか、浪人もダメだとかいうんですよ。どう思います？」

女子生徒の発言や気持ちをどう思いますか。
女子生徒の親の発言や気持ちをどう思いますか。



小・中学生を対象に、男女の尊重や自分を大事にすることの理解、固定的な性別役割分担意識解消の理解を深める教材及び指導の手引き等を作成しました。

4種類の教材（小学生低学年・中学年・高学年、中学生向け）と教育プログラムを企画・実施するための「**指導の手引き**」があります。



夏のリコチャレ2025振返りと2026に向けて

夏のリコチャレ2025 ～理工系のお仕事を体感しよう！～

【事業概要】

- ・主に女子中高生等を対象に、夏休み期間を利用して、企業・大学・学術団体等が実施する理工系女子応援イベントに関する広報事業。
- ・内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会の共催事業。
- ・**職場見学、工場見学、シンポジウム、実験教室、先輩女性社員との交流等**

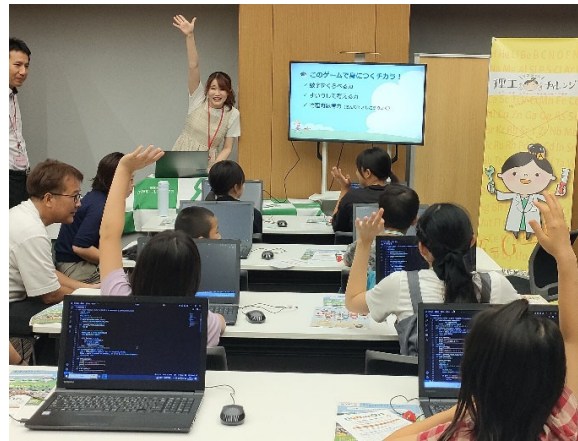


夏のリコチャレ2025

開催実績

129団体235イベント

8,300名以上が参加



こども霞が関見学デー「求む！未来の理工系女子！」
(株式会社エスワイシステム・内閣府男女共同参画局)



「マンションのことなら長・谷・工」～マンションミュージアム見学＆マンションにまつわる実験体験ツアー」
(株式会社長谷工コーポレーション)



「女子高校生のためのデータサイエンス職場見学ツアー」
(さいたま市男女共同参画推進センター、株式会社ARISE analytics)



浜松ホトニクス 夏のリコチャレ2025
「光の性質に触れ、理系女性の働き方を覗いてみよう！」
(浜松ホトニクス株式会社)

「夏のリコチャレ2025 ～理工系のお仕事を体感しよう！～」 開催実績

夏のリコチャレ2025 開催実績

● 参加団体数：129

企業：53 大学等：28 地方公共団体：12 学術団体・その他：36

● イベント数：235

オンライン(実地開催とのハイブリッド含む)：15 実地：220

● 参加者数：8,300名以上

夏のリコチャレ2024 からの変化

● 参加団体数

119 団体 → 129 団体 (+10)

● イベント数

228 イベント → 235 イベント (+7)

● 参加者数

6,900 名以上 → 8,300 名以上 (+1,400)



■事務連絡発出先

- ・ 都道府県男女共同参画主管課（6/27）
- ・ 政令指定都市男女共同参画主管課（6/27）
- ・ 各都道府県教育委員会担当課（7/1）
- ・ 各指定都市教育委員会担当課（7/1）
- ・ 各都道府県私立学校主管部課（7/1）
- ・ 構造改革特別区域法第12条第1項を受けた学校設置会社を所轄する各地方公共団体の学校設置会社担当課（7/1）
- ・ 附属学校を置く各国公立大学法人担当課（7/1）
- ・ 各文部科学大臣所轄学校法人担当課（7/1）

■その他周知

- ・ 男女共同参画局SNS（Twitter、Facebook）
（6/27～8/29、計10週配信）
- ・ 文部科学省メルマガ（初等中等教育ニュース、マナビィメルマガ）
（マナビィメルマガ7/24、初等中等教育ニュース7/25）
- ・ 男女共同参画局広報誌「共同参画」（7月号、10月号）

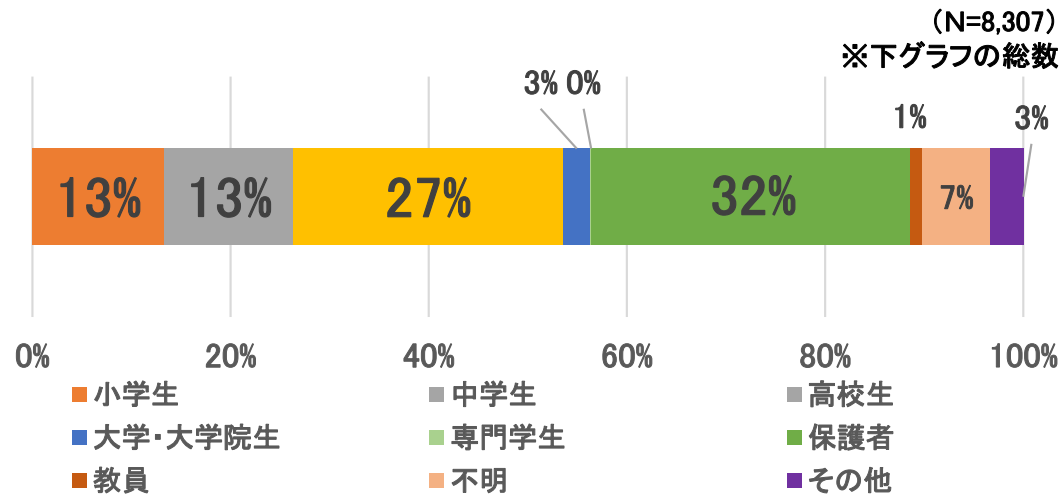


夏のリコチャレ2025 アンケート結果 ① 参加者

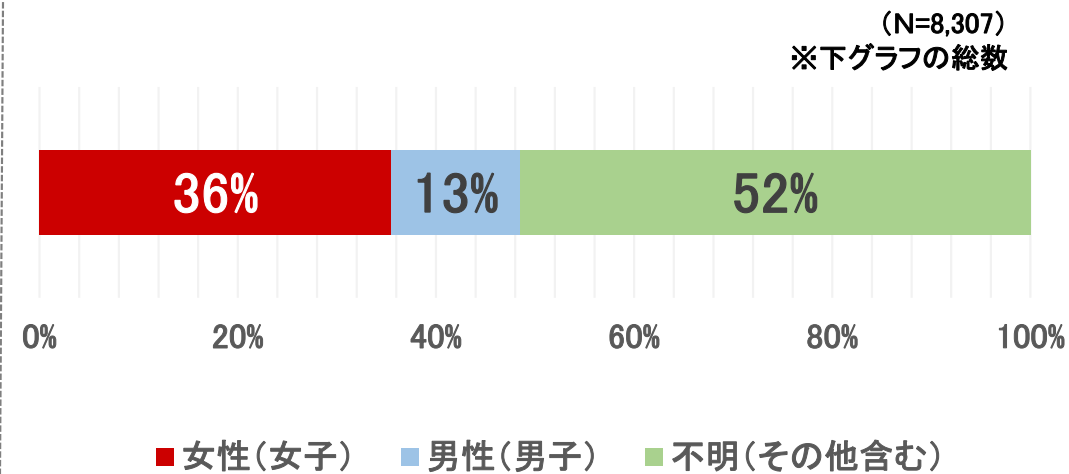
◆夏のリコチャレ2025イベント実施団体向けアンケートより、集計

- アンケート対象：夏のリコチャレ2025実施団体129団体（うち、有効回答数97団体）

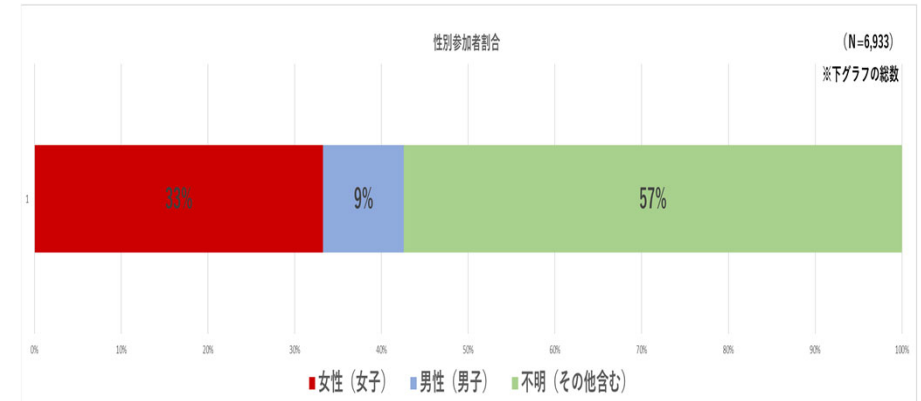
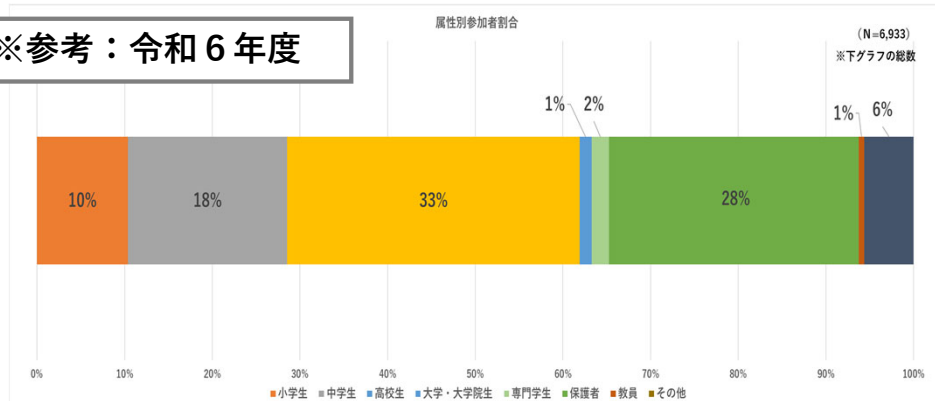
属性別参加者割合



性別参加者割合



※参考：令和6年度



- 生徒・学生の参加比率は昨年と大きく変動はない。
- 本年度は、保護者も対象としたイベントがより多く開催されており、保護者の参加者数（割合）は、昨年度比で増加している。引き続き、進路選択に大きな影響を及ぼす保護者への働きかけの継続が重要である。

夏のリコチャレ2025 アンケート結果 ②参加経路

◆夏のリコチャレ2025イベント実施団体向けアンケートより、集計

- ・アンケート対象：夏のリコチャレ2025実施団体129団体（うち、有効回答数97団体）

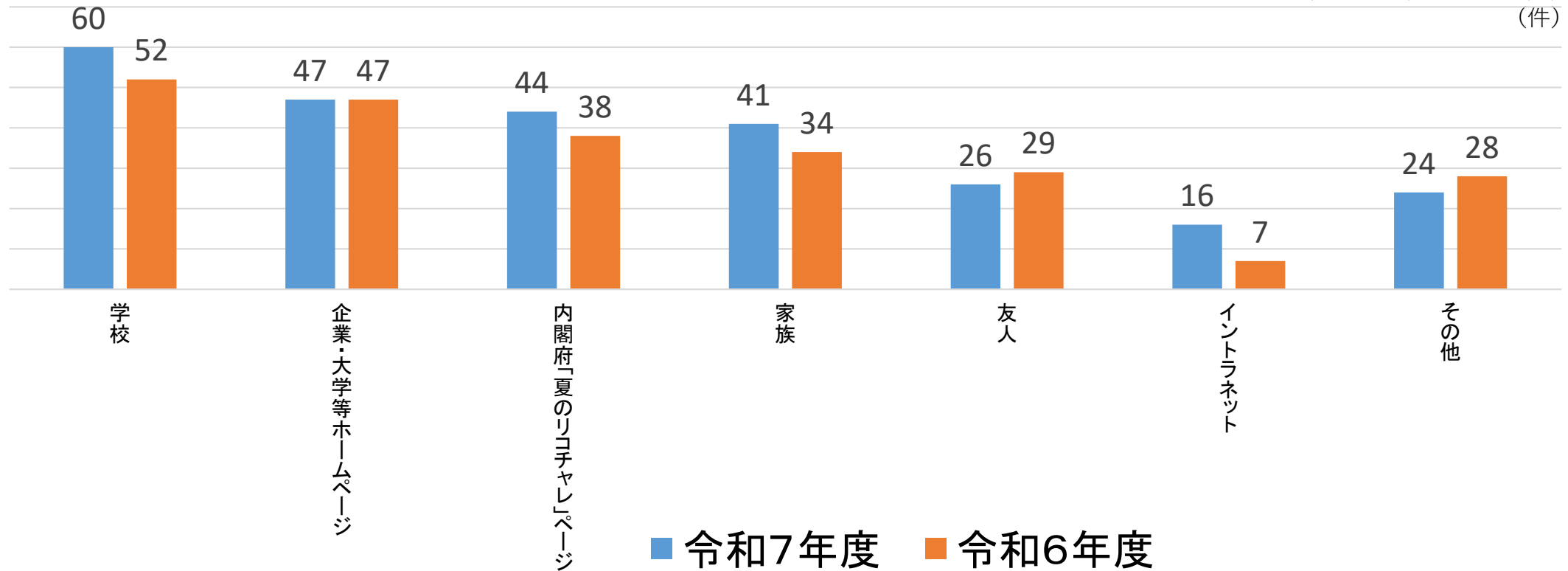
参加経路

※各団体が参加者の流入経路を複数選択

(N=258 (令和7年度))

(N=235 (令和6年度))

(件)



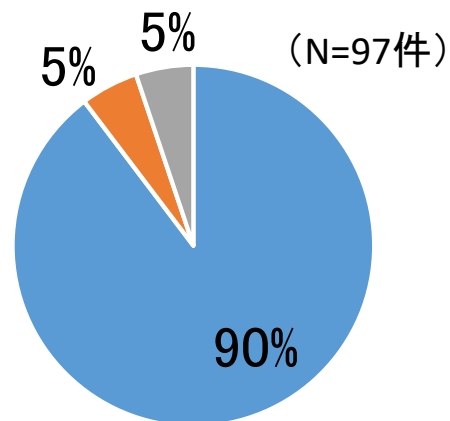
「学校」「企業・大学等のホームページ」「内閣府「夏のリコチャレ」ページ」経由の流入の順で回答数が多い結果となった。今年の広報では、学校教員や自治体職員を対象とした説明会、教職員や教育委員会関係者をメインターゲットとした文部科学省のメールマガジン配信、内閣府のSNS広報の強化等の結果が反映されていると推測される。来年度も、継続的に取り組んでいく。

夏のリコチャレ2025 アンケート結果 ③実施形態

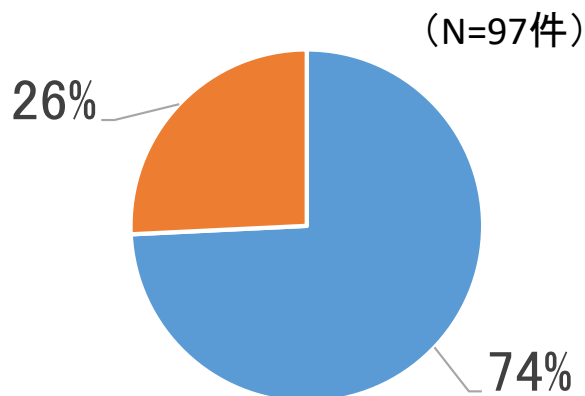
◆夏のリコチャレ2025イベント実施団体向けアンケートより、集計

- ・アンケート対象：夏のリコチャレ2025実施団体129団体（うち、有効回答数97団体）

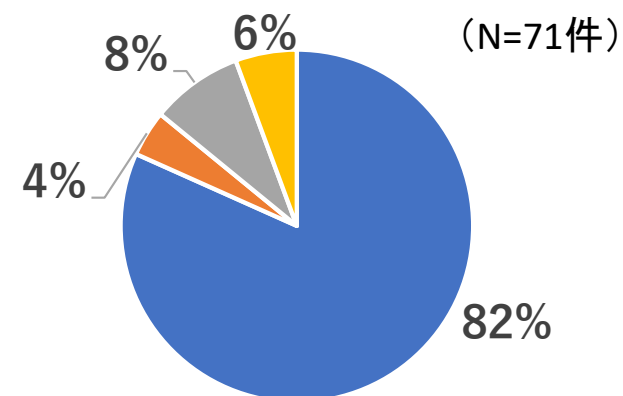
(1) 令和7年度実施形態



(2) 令和8年度実施予定



(3) 令和8年度の実施形態予定



■ 実地 ■ オンライン ■ 実地・オンライン

■ 来年度もイベントを実施する(予定) ■ 未定

■ 実地 ■ オンライン ■ 実地・オンライン ■ 未定

・今年度は昨年度に引き続き、ほとんどのイベントが実地開催された。また、約7割の団体が次年度も実施を予定しており、そのうち、約8割の団体が、実地開催を検討している。

・コロナ禍の時期から比較すると、徐々に実地開催の割合が増加していることから、「実地開催だからこそ伝えられる」ことに魅力を感じている団体が増加していることが分かる。一方で、アンケートでは「都市部に比較し、地方は理工系体験ができるイベントへ参加機会が少ない。」との回答もあり、オンライン開催が地方在住の生徒等の参加機会の創出へ繋がることも期待される。

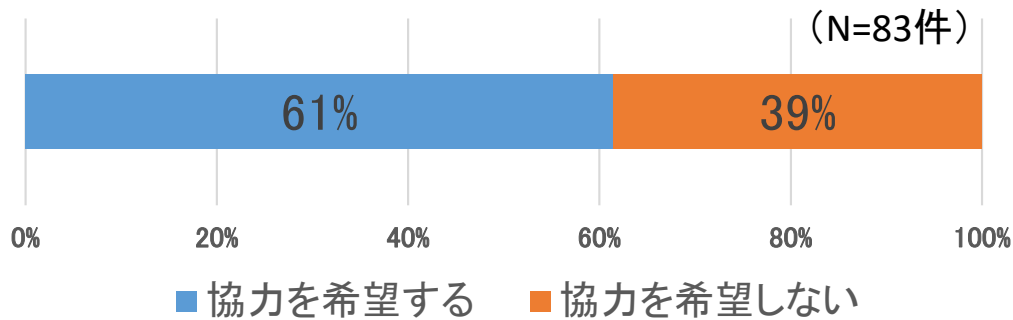
・後ほど、実地開催された団体、オンライン開催した団体にそれぞれ事例発表していただくので、是非参考にさせていただきたい。

夏のリコチャレ2025 アンケート結果 ④自治体との協力

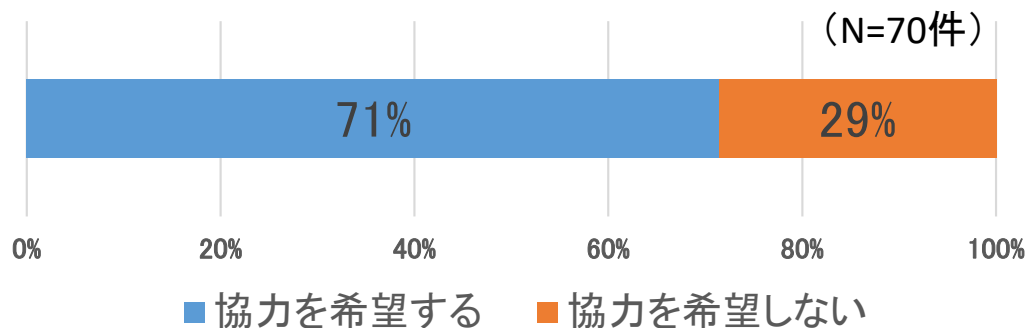
◆夏のリコチャレ2025イベント実施団体向けアンケートより、集計

- ・アンケート対象：夏のリコチャレ2025実施団体129団体（うち、有効回答数97団体）

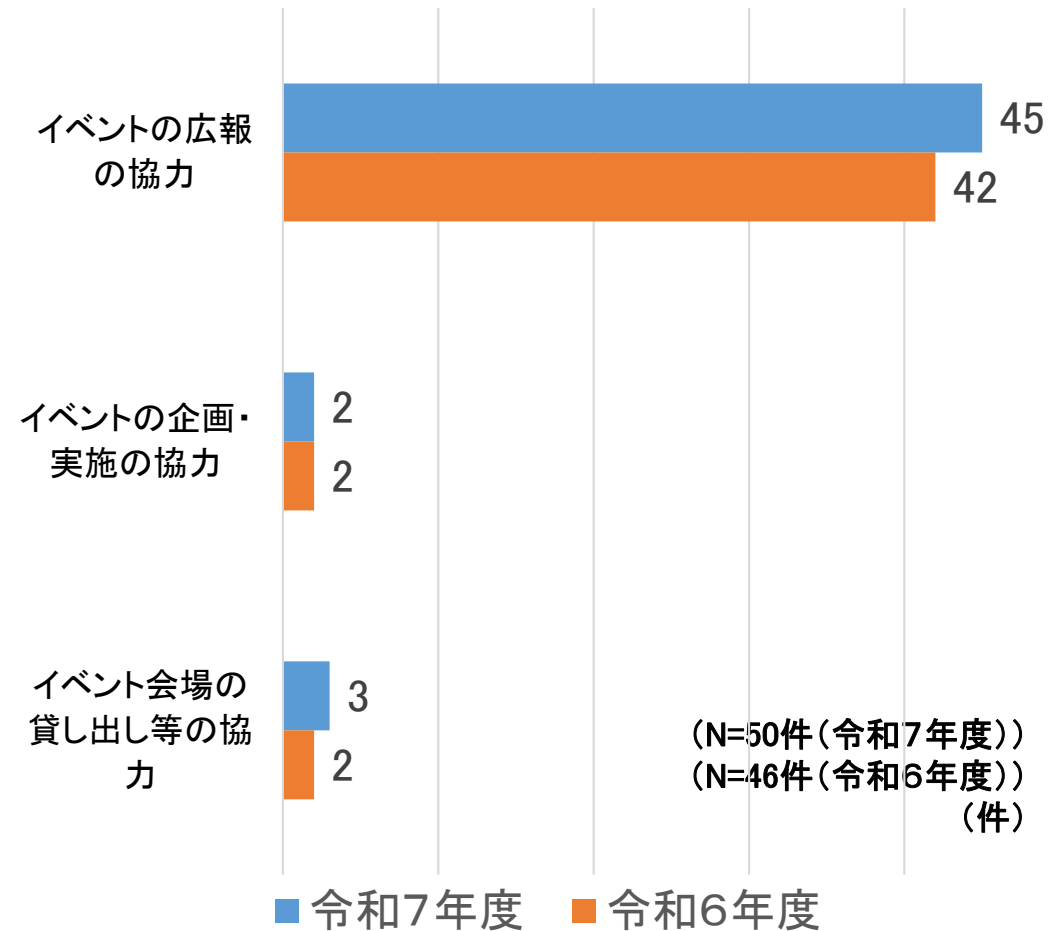
自治体への協力希望（令和7年度）



自治体への協力希望（令和6年度）



希望する協力内容



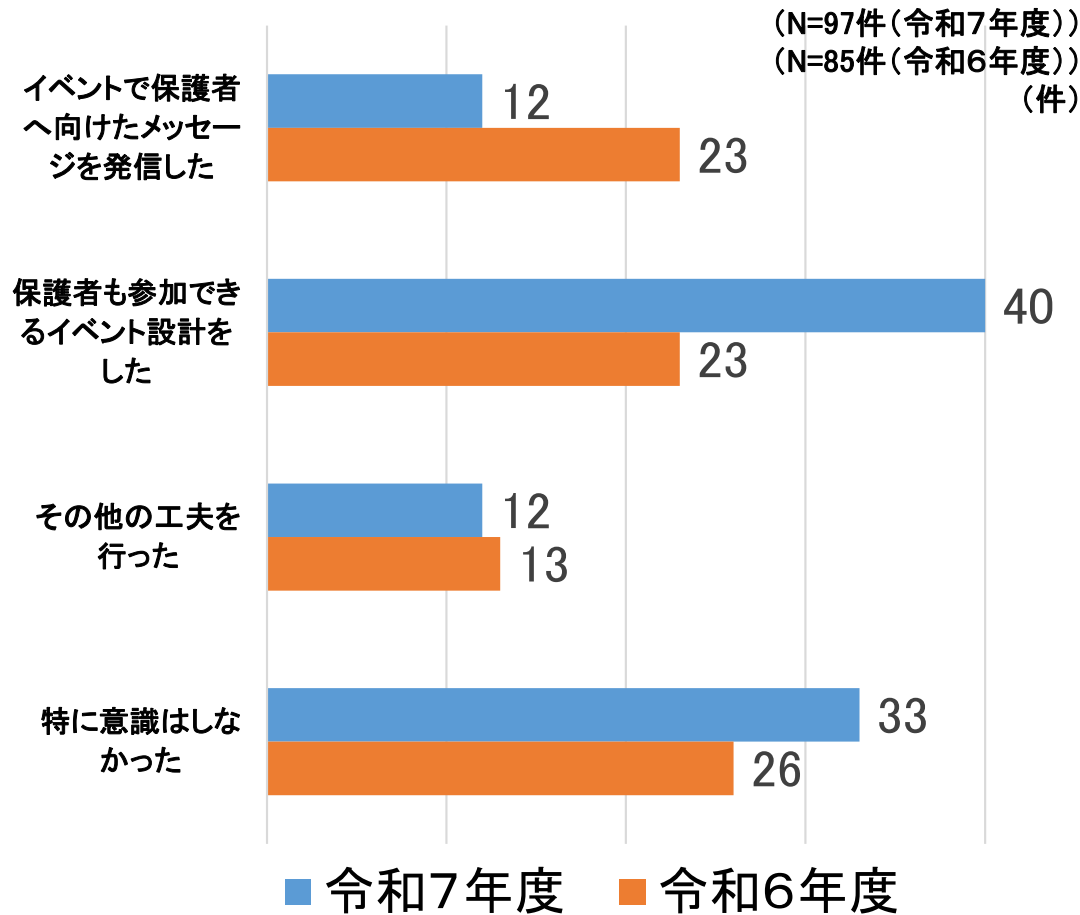
- ・引き続き、約6割の団体が「自治体の協力」を希望している。
- ・特に「イベントの広報の協力をしてもらいたい」という期待が寄せられている。

夏のリコチャレ2025 アンケート結果 ⑤保護者を意識したイベント

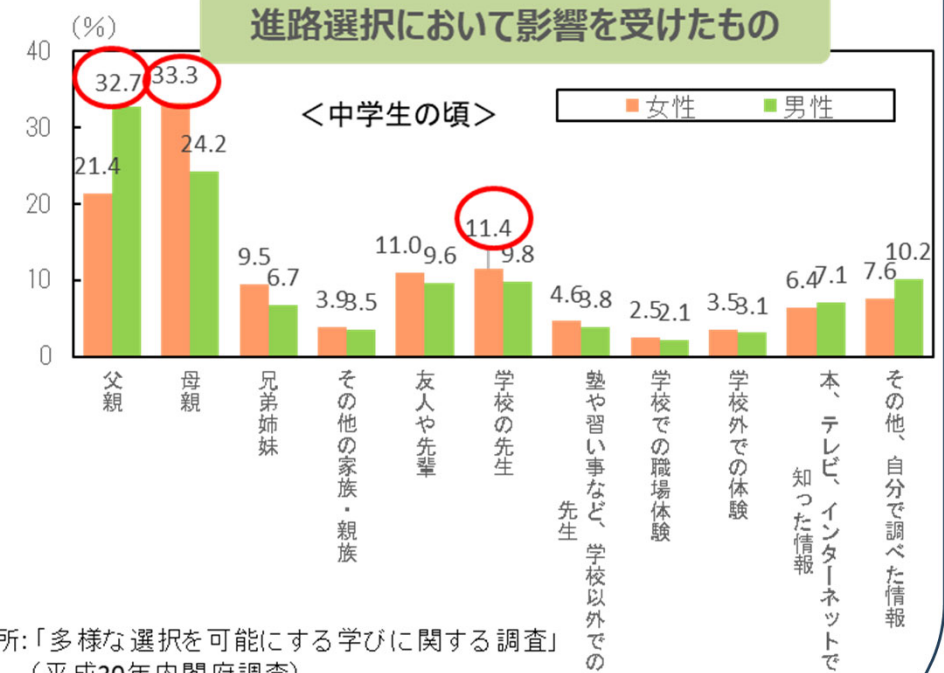
◆夏のリコチャレ2025イベント実施団体向けアンケートより、集計

- ・アンケート対象：夏のリコチャレ2025実施団体129団体（うち、有効回答数97団体）

保護者を意識したイベントの工夫



※参考：平成30年内閣府調査より



- ・昨年度比で、「保護者も参加できるイベント設計をした」事例が増加。
- ・過去の内閣府調査においても、進路選択における保護者の影響は極めて大きいため、今後も保護者を意識したイベント上の工夫がさらに行われることが必要である。

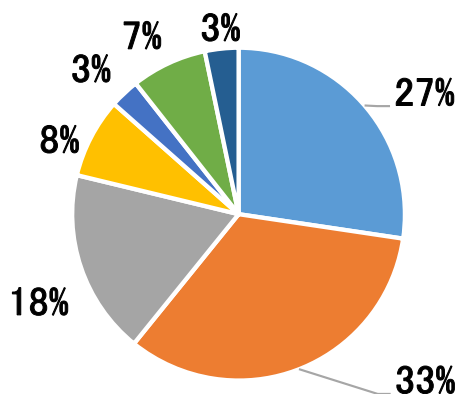
夏のリコチャレ2025 アンケート結果

⑥内閣府・文科省・経団連への要望

◆夏のリコチャレ2025イベント実施団体向けアンケートより、集計

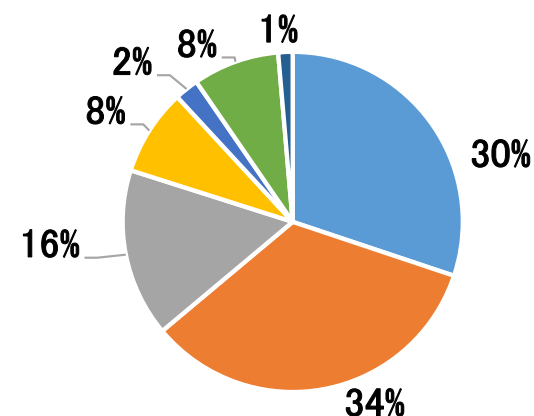
- ・ アンケート対象：夏のリコチャレ2025実施団体129団体（うち、有効回答数97団体）

内閣府・文科省・経団連への要望 (令和7年度)



- PRの強化
- 学校への周知強化
- 自治体への周知強化
- 財政的支援
- 政府主導のイベント企画
- 企画のための情報提供
- その他

内閣府・文科省・経団連への要望 (令和6年度)



- PRの強化
- 学校への周知強化
- 自治体への周知強化
- 財政的支援
- 政府主導のイベント企画
- 企画のための情報提供
- その他

- ・ 「PRの強化」、「学校への周知強化」への期待が特に高まっている。
- ・ 今年度も内閣府「夏のリコチャレ」特設ページを作成し、「夏のリコチャレ」実施期間にあわせ広報活動を強化。今後もさらなるPRの強化に向け尽力する。
- ・ また、昨年度から、学校関係者や自治体職員等を対象にした説明会を実施するとともに、教職員や教育委員会関係者を中心とした文部科学省のメールマガジンを通じた働きかけを行っている。今後も学校への周知強化のため、説明会の実施や、学校への働きかけを継続的に行っていく。

夏のリコチャレ2025 アンケート結果 ⑦参加者の声（一部抜粋）

実施団体種別	参加者の声
企業	● <u>大学生活のこと、就活のことなど、座談会でリアルな話を聞けてとても面白かった。</u> ● <u>理系が得意じゃなくても大丈夫だということに気づきました。</u> ● <u>理系の分野はあまり得意ではなかったが、社員の話を聞き、理系に少し興味が湧いた。</u> ● <u>実際に働いている方の話を聞き、最初は理工分野の楽しさを知らなかったが、理工分野の楽しさを知ることができた。</u> ● <u>元々理系に進もうと思っていたが、このイベントを通して理系はもっと面白いんだなと思った。</u> ● <u>理系の仕事に進んだきっかけや、仕事について教えてもらえ参考になった。</u> ● <u>説明だけでは想像しにくいことを、実験という形で分かりやすく説明していただけて良かった。</u> ● <u>今回のイベント開催はたまたま見つけることができたが、今後は色んな所に載せて、簡易にイベント情報を見つけられるようにしてほしい。</u> ● <u>施設がとても綺麗で、化学会社のイメージが変わった。普段見られない研究所の様子を見学できて楽しかった。実験を通して、化学の力の凄さを肌で感じる事ができた。</u> ● <u>皆さん洗練されていて、大人の女性として自立されている姿がかっこよく、自分もこうなりたいと思えた。どんな質問でも親身になって答えてくださり、貴重な経験となった。</u>
大学	● <u>小さい時から理科や理系に親しむ環境が都会の方が圧倒的に多い。地方に働きかけをして欲しい。各地域にある大学に希望すれば、協力してもらえと思う。</u> ● <u>地方出身ということもあり、実際に東大の学生さんのお話を聴いたり、質問したりといった経験をする事がなかったので大変貴重な経験ができた。</u> ● <u>グループワークがたくさんあり、普段の学校の授業とは違い、自分たちで考え手を動かして問題を解決していく授業はとても楽しかった。</u> ● <u>オンライン参加で、ブレイクアウトルームでは自由に発言しながら作業や観察ができる雰囲気があり、非常によかった。一方で、メインルームでは各地の会場の様子を見ることができ、様々な大学や研究室を訪問したような気分になった。</u> ● <u>白衣を着たり、大学の雰囲気に触れたりするなかで「かっこいい！」という憧れを抱いたようで、いつもより真剣で緊張した面持ちで参加していた。憧れをもつ機会はその多くないため、とても素敵な体験となったのではないかなと思う。</u> ● <u>研究者の具体的なイメージが湧いた。より将来、研究者になってみたくなった。</u> ● <u>印象に残った内容(上位): <u>仕事のやりがいや苦労話、進路選択に関するアドバイス、理工系の仕事内容</u></u>
学術・研究 機関、行政 機関等	● <u>この講座を通して理工系に興味をもったので、もっと色々な実験や体験に取り組みたいと思った。(小5)</u> ● <u>研究員の1日のスケジュールやラボの雰囲気、女性研究員の方などの働き方を知れ、自分が社会人になったときのイメージが湧いた。</u> ● <u>将来技術職につこうと思ってる自分は、研究者ではなく、技術者にフォーカスされているのが貴重な体験すぎてありがたい。</u> ● <u>色々な社員の方と話ができたので、理工系への興味が今までよりも湧いた。</u> ● <u>こどもが自分で考えて行動してたのを見てよかった。学生の方々とお話ができて喜んでいた。</u> ● <u>理系、文系の進路選択によって、自分のやりたいことへの道がなくなるわけではないので、自分のやりたいことをやってみようと思った。</u> ● <u>理系、文系こんなに面白い一般公開されるイベントが自分達の小さい頃に経験できていたら、もっと選択肢は広がったのではないかなと思う。こども達はまだまだ興味を持ったり、好きなことが見つけられる年齢ではありませんが、私達親がそれらを教えてあげることがすごく大事な時期だと思って今回参加した。</u> ● <u>「アンコンシャス・バイアス」という言葉について初めて知った。知らないうちに理系は男子、文系は女子というイメージでいたと思う。</u>